

# おわりに

これらの資料からは、噴火の様子や被害について知ることができました。

焼岳は、中長期的には火山活動が高まってきており、注意が必要な活火山とされています。過去の事例を学びつつ、最新の火山情報にも十分注意し、登山に際しては登山計画書の提出、ヘルメット等の装備をすることが大切です。

※気象庁ホームページ「焼岳の活動状況」

[https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/activity\\_info/310.html](https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/activity_info/310.html)



焼岳火山防災協議会では昭和37年(1962年)の噴火に関する資料を収集しております。今後も、準備の整った資料から順次公表してまいりますので、情報をお持ちの方は下記連絡先へご連絡ください。

岐阜県飛騨県事務所振興防災課

電話：0577-33-1111（内線232）

FAX：0577-33-1085

高山市総務部危機管理課

電話：0577-35-3345

FAX：0577-35-3174

長野県松本地域振興局総務管理課

電話：0263-40-1903

FAX：0263-47-7821

松本市危機管理部危機管理課

電話：0263-33-9119

FAX：0263-33-1011

# 参考文献

・焼岳火山防災協議会「焼岳火山防災避難計画」令和

2年2月3日

・及川輝樹・山田久美『日本の火山に登る』（山と溪谷

社）2020年3月15日

